



2022年2月16日

報道関係者各位

特定非営利活動法人きずなメール・プロジェクト

日本初！テキストメッセージで在住外国人の妊娠・出産・子育てをサポート。無料で読める「やさ日きずなメール」を3/1より配信開始。

「孤育て予防のきずなメール」を全国展開する NPO 法人きずなメール・プロジェクト（東京都新宿区）は 3 月 1 日より、在住外国人妊産婦に向けた「きずなメール やさしい日本語版」（以下「やさ日きずなメール」）をリリースします。登録は無料で、誰でも読むことができます。

右：「マタニティきずなメール」のやさしい日本語版 イメージ
（登録のための二次元バーコードは下記に。3/1より登録可能）

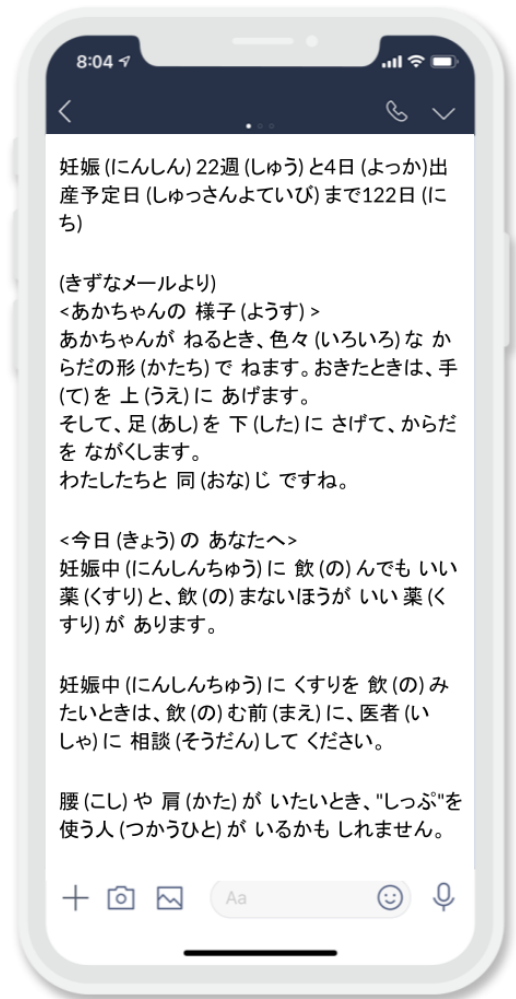
「きずなメール」とは「複数専門家によって制作監修されたテキストメッセージ」。妊娠初期から3歳誕生日まで、LINE・メール等の継続配信により、読み手の育児不安軽減、知識提供により孤立を防ぎ、乳幼児虐待未然防止を目指すものです。主に自治体事業として一般的な子育て世帯を対象として展開していますが、今回、日本で妊娠・出産・子育てをする在住外国人の方に向けて、きずなメールを「やさしい日本語」に翻訳しました。

2017年の法務省「外国人住民調査報告書」によると、回答者のうち「日本語で話すことができない」が約1割、「日常会話レベル以上の日本語能力がある」が約8割。「やさ日きずなメール」はこの8割の方に読んでいただくことを目指しています。

費用はクラウドファンディングで調達し、翻訳、編集、監修には複数専門家と約50名のボランティアが参加。この取り組みを広く社会にアナウンスするため、リリース前の2月23日に完成報告会を開催します。会では、取り組みの全体像を紹介するとともに、当事者である在住外国人妊産婦さんとそのご家族の方に、どのように知ってもらい、登録していただくかについての議論も始めていきます。

以上

登録は下記から。LINEとメールの2媒体で読めます。配信は3/1より。





LINE版
(マタニティ/子育て)



メール版
(マタニティ)



メール版
(子育て)

【きずなメールについて】

「きずなメール」とは、「テキストメッセージ」で子ども虐待の予防を目指す事業です。複数専門家によって制作監修されたテキストメッセージはそれ自体が読み手の不安軽減や知識向上につながり、子ども虐待の未然防止策として機能します。「プッシュ型の情報発信」は「弱いきずなでつながり続けるセーフティネット」としても活用できます。

2022.1.20 NPO法人きずなメール・プロジェクト 作成

“テキストメッセージ”で子ども虐待予防を目指す「きずなメール事業」全体像

自治体の情報と組み合わせる「きずなメール」のテキストメッセージ

「生後〇日」が喜び・励ましに
不安軽減への配慮
タイムリーな助言

〇〇ちゃんが生まれて〇歳〇か月、誕生から169日目です。
(きずなメールより)
<今日のママ・パパへ>
【離乳食のはじめどき】……離乳食を思っている人もいるでしょう。離乳食は「必ずこの時期からはじめる」というものではなく、5か月に入り……
離乳食は、赤ちゃんがごっくんできるヨーグurt状にして1種類赤ちゃんみそ1杯から始めます。おかゆが苦手な赤ちゃんは、かぶやにんじん、玉ねぎなどをやわらかく煮てつぶして食べさせてみて、飲み込むことに慣れてからでもよいでしょう。乳幼児は「乳児肥満」「乳児低栄養」による「中毒」の原因となり、時には死に至る可能性があるため、1歳までは与えてはいけません。

（〇〇市より）
お母さん同士おしゃべりをして、情報交換やリフレッシュしてみませんか？ 保健師や栄養士等に相談もできます。毎月第3金曜日午後2時00分～

幹
枝

すべての人に虐待リスクがある現在、ローリスク層も含めたポピュレーションアプローチが予防になる。

最重度虐待
重度虐待
中～軽度虐待
虐待ハイリスク

虐待ローリスク

届け方はさまざま
LINE 〆 アプリ

重度虐待の対象者には専門性を持つ人員による対応、人的コストが必要

「子ども家庭福祉」及び「ポピュレーションアプローチ」としての「きずなメール事業」

妊婦初期から約4年間、約540通の「きずなメール原稿」を通して自治体と住民との信頼関係を築く。

LINE 〆 マタニティきずなメール

妊婦初期 出産 1歳 2歳 3歳

子育てきずなメール

自治体の重症虐待対応の強化に関する情報
自治体の情報（「きずなメール」制作時の参考）
平成25年8月 改訂版）から作成

- ①「複数専門家の制作監修によるテキストメッセージ」はそれ自体が読み手の不安軽減や知識向上につながり子ども虐待の未然防止策となります。
- ②「プッシュ型の情報発信」は「弱いきずなでつながり続けるセーフティネット」としても活用できます。

2021年度活用実績

東京都文京区、神奈川県相模原市、東京都中央区、東京都江東区、東京都墨田区、東京都八王子市、長野県長野市、茨城県龍ケ崎市、埼玉県本庄市、東京都東久留米市、兵庫県神戸市、東京都中野区、東京都港区、愛知県岡崎市、東京都大田区、北海道苫小牧市、兵庫県宝塚市、岡山県奈義町、埼玉県富士見市、神奈川県大和市、埼玉県深谷市、愛媛県西予市、千葉県松戸市、新潟県新潟市西区、東京都多摩市、北海道札幌市、山梨県韮崎市、千葉県富津市、新潟県新潟市北区、岐阜県大垣市

【プレスリリース・取材に関するお問い合わせ先】

NPO 法人きずなメール・プロジェクト 担当：オノヘレ浩子

電話 03-6709-6893 inquiry@kizuna-mail.jp

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-22-10-3B